畑谷池ハザードマップ

日ごろから、避難場所・避難経路を確認しておきましょう。

このハザードマップの氾濫解析結果は、国土地理院の1/25，000地形図の等高線データを基に作成された標高10mメッシュデータを用いて、氾濫解析シミュレーションを行ったものであるため、実際の氾濫区域とは異なる可能性もあります。

問い合わせ先
かつらぎ町役場　建設課　管理係
Tel：0736－22－0300（内線：2084、2086）
伊都振興局地域振興部　農地課
Tel：0736－33-4913

凡例

浸水深

- 0.00m以上～0.25m未満
- 0.25m以上～0.50m未満
- 0.50m以上～1.00m未満
- 1.00m以上～1.50m未満
- 1.50m以上～2.00m未満
- 2.00m以上～

浸水深と深さの目安

洪水到達時間

避難施設

国　道

24

JR和歌山線

京奈和自動車道

ため池名	畑谷池
所在地	かつらぎ町大字妙寺字東平田1306番地-1
浸水想定面積	46.3ha
満水面積	2.84ha
堤長	133.0m
総貯水量	83,500m^3

	避難施設	所在地	電話番号
	ゆうゆうコミュニティホーム	妙寺146-2	0736-22-8191
※	妙寺中学校	妙寺581	0736-22-0159
	妙寺小学校	妙寺857	0736-22-0031
	丁ノ町地域交流センター	丁ノ町459-1	0736-22-6944
	西飯降集会所	西飯降291	－

※なお、ため池決壊時に妙寺中学校は、浸水被害想定区域に入っています。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500（空間ﾃﾞｰﾀ基盤）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平27情使、第652号）」

ハザードマップについて

このハザードマップは、大雨のとき、大地震のときにため池が決壊した場合を想定し、ため池決壊による浸水被害想定区域と避難対策等の情報を分かりやすく住民の皆さんに提供するとこを目的に作成したものです。

なお、このマップをみて、自分の家が浸水被害想定区域に入っていないからといって、決して安心できません。

浸水想定被害区域にお住まいの方はもちろんのこと、隣接区域にお住まいの方についても、浸水に備えて事前に避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

こんなときは要注意！！

～大雨のとき～

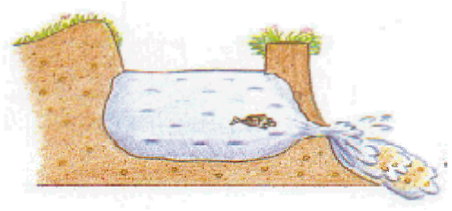
大雨のとき、ため池の水位が上昇し、堤防を乗り越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。

竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の危険性は、一層高くなります。

～大地震のとき～

大地震のとき、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地震の液状化により、決壊する危険性があります。

比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に至ることがありますので注意が必要です。



落ち着いて早めの避難を！

～早めの避難を！～

- ●道路や地面が浸水する前に、避難しましょう。
- ●高齢の方、身体不自由な方、子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
- ●荷物は貴重品、必要な食料、衣料、日用品、薬など必要最小限のものにしましょう。

～避難は2人以上で！～

- ●裸足、長靴は危険です、ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
- ●ご近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
- ●避難は必ず歩いてしましょう。車やバイク移動は、流されたり、転倒するこもあり非常に危険です。
- ●避難には高い場所にある道路を選びましょう。

～水が来てしまったら無理せずに！～

- ●普段は見えていた溝、水路やマンホールは、洪水のときには泥水で見えません。十分に注意しましょう。
- ●水深がひざまであるようなら無理をせず高所で救助を待ちましょう。
- ●はぐれないように避難しましょう。

災害関連情報の入手先

大雨や大地震のとき、まずテレビ・ラジオを付けて積極的に情報を入手しましょう。

気象情報・地震情報（気象庁）	http://www.jma.go.jp/
和歌山県HP（和歌山県）	http://www.pref.wakayama.lg.jp/
かつらぎ町HP（かつらぎ町）	http://www.town.katsuragi.wakayama.jp/

緊急連絡先

かつらぎ警察署	0736-22-0110	かつらぎ町役場　建設課	0736-22-0300
伊都消防組合	0736-22-0119	伊都振興局　地域振興部　農地課	0736-33-4913

いざ！というときに備えて・・・

～避難場所と避難経路の確認をしておきましょう～

- ●水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道になります。洪水になったらどう避難するか地形を見て確認しておきましょう。

～正確な情報収集と自主的避難を心がけましょう～

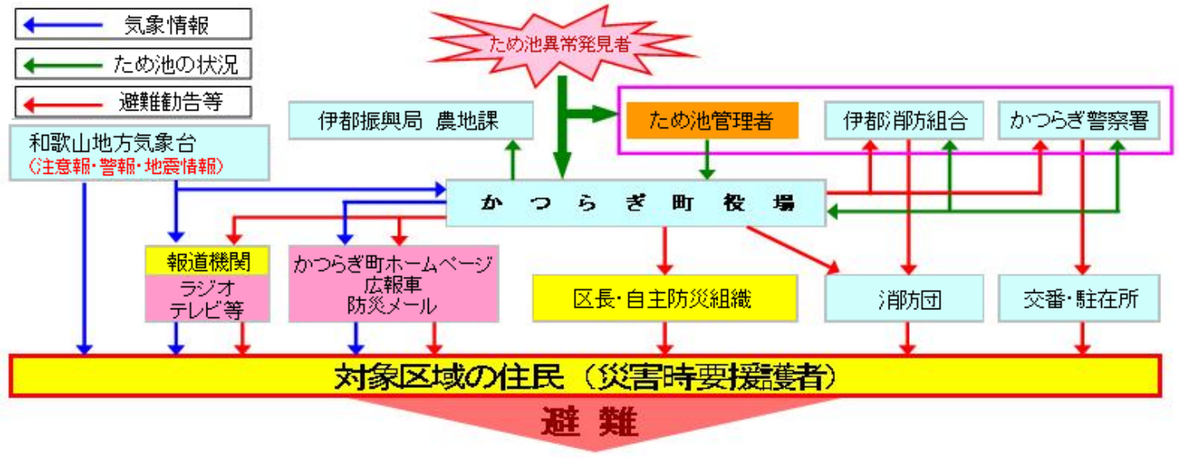
- ●ラジオやテレビで正確な情報をキャッチしましょう。
- ●危険を感じたら、町・警察・消防等に連絡するとともに自主的に避難しましょう。

～非常持ち出し品を常備しましょう～

- ●いつでも避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。
  懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水、食料品、救急医療薬品、お金、貴重品、衣料品、雨ガッパ、ハザードマップ等

～避難の呼びかけに注意を払いましょう～

- ●危険が迫ったときには、町から避難の呼びかけをすることがあります。
  テレビ、ラジオ、サイレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。



避難勧告などの連絡があったら、直ちに避難しましょう！

浸水被害が発生する危険度が高まった時に、かつらぎ町から避難情報の伝達及び避難勧告・指示を行います。

○避難準備情報が出たら・・・
家族等との連絡。非常用持ち出し品の用意等。避難準備を開始してください。
○避難勧告が出たら・・・
計画された避難場所等への避難行動を開始してください。
○避難指示が出たら・・・
避難していない場合は、避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

わが家の防災メモ

～家族で話合って書き込みましょう～

わが家の避難所

家族の集合場所

緊急時の連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話番号・会社・学校連絡先

非常持ち出し品チェックリスト

- □□　懐中電灯　（□□　電池）
- □□　ろうそく　（□□　マッチ）
- □□　携帯ラジオ（□□　電池）
- □□　水
- □□　食料品　（□□　缶きり等）
- □□　医療品
- □□　現金・貴重品
- □□　衣類（雨ガッパ、軍手、下着等）
- □□　ハザードマップ